

(家庭数配布)



今年度もやります！！ジョギングタイム

子どもたちの健康への意識づけ、また、より積極的な感染対策を目指し、昨年度後半より始めたジョギングタイム。今年度も引き続き行います。この取り組みは4年生以上を対象としているため、先日、新4年生を対象に説明会を行いました。ざっと30人くらいの子供が集まってきました。そして、健康のこと、「走る」ことの手軽さや心がけてほしいことなどを話しました。早速、翌日より参加票の提出があり、現時点でおよそ40枚の参加票が集まっています。それは嬉しいことなのですが、肝心なのはこれからです。昨年度も、かなり多数の参加票提出があったものの、結局1回も参加せずに卒業してしまった子や、1回は参加したものの、その後全く参加しなくなった子もかなりたくさんいました。何らかの理由があったのかもしれませんが、やはり健康維持、体力作りについては、それこそ「継続は力なり」しかありません。

「ちょっと運動した。」「健康食品を食べた。」だけでは難しいです。健康のためには良い生活習慣（食事・睡眠・運動）の継続が必要です。保護者の皆様も含め本業（子どもは学習、大人は仕事・家事）をしっかりやっていくために「まずは健康」です。また、健康でなければ遊びにも行けませんよね。繰り返しになりますが「継続は力なり」です。今年度のジョギングタイムは明日（9日）より行います。多くの子どもたちが、“積極的に” “継続的に” 参加してくれることを期待します。



「普通」「当たり前」に感謝の心を！

ご飯を食べること、寝ること、豪邸ではなくても屋根のある家に住むこと、これはほとんどの子どもが「普通に」「当たり前」できていることではないでしょうか。ところが、毎日のテレビや新聞を観ていると分かりますように、世界ではまだまだ戦争や紛争が起こっていて、十分に判断力のあるはずの大人が、武力によって解決を図ろうとしているところもあります。そのような地域の子どもたちにとって、この3つの「普通に」「当たり前」はどうでしょう？「普通に」「当たり前」ではないはずです。

緑地小の子どもたちには、この3つに対して、それこそ「普通だ」「当たり前だ」とは思わずに、感謝の気持ちを持ってほしいと思います。また、この恵まれた環境に甘んじることなく「自分のため、みんなのために頑張る心」も持ってくれることを望みます。（各ご家庭でも、「普通って何？」「当たり前って何？」と、お話し合いをしていただければ幸いです。）

と、偉そうなことを述べてしまいました。私がなぜこのようなことを考えたのか、それは私が毎日生活する中でのほんの些細な出来事がきっかけでした。「今まで当たり前だと思っていたけど、こんなにも嬉しくて気持ちのいいことだったのか！」と感動することがあったのです。でも、これはあまり文字にはしたくありません。もし、「何？」と思われる方がおられれば直接お伝え致します。勇気と覚悟を持って校長室をノックしてください。（子どもも含めてどうぞです。）「な～んだ、そんなことか～」ということなんですけど…。

◇遠足や校外学習、宿泊行事、楽しみです！！

5～6月には、各学年で遠足や校外学習、宿泊行事が行われます。いつもは遅刻するギリギリまで寝ているのに、この日だけはなぜかとても早くに起きてきたりして…。子どもたちにとってはとても楽しい行事なのでしょうね。

特に林間学舎や修学旅行は高学年の子どもたちにとっての一大イベントです。卒業アルバムには、多くの子どもたちが思い出に残る行事として文章を綴ります。何が思い出に残るのかって、学校が準備するプログラムもそうですが、宿舎の部屋で友だちといろんな話をするこもです。ただ、楽しむあまりハメは外さないようにはしてくださいね。楽しい行事をより楽しくするためにもです。

